

アジア、アフリカ、中東、日本で、その地に生きる人たちと共に。
現在、世界11の国／地域で活動をしています。

命を守る・平和をつくる

人道支援／平和構築

紛争や災害など困難のなかに生きる人々の命と生活を守る支援を。また、武力に頼らず紛争が解決されるよう、平和をつくる活動を行っています。



アフガニスタン パレスチナ イラク スーダン 南スーダン コリア

暮らしを支える 地域開発

農村で安定した暮らしを送れるように。
人と自然にやさしい農業を通し、循環型の社会づくりを支えています。



カンボジア ラオス 南アフリカ タイ

復興を支える 国内災害

東日本大震災被災地で
2011年から活動しています。



南相馬

社会を変える 提言活動

国際社会に現場の声を届けます。



スタッフ（国内18名・海外32名 合計50名） 2019年7月現在



東京 カンボジア ラオス アフガニスタン 気仙沼 スーダン パレスチナ 南アフリカ タイ



日頃からの温かいご支援とご協力に、
心より御礼申し上げます。

特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター（JVC） 代表理事 今井 高樹

2018年に代表理事に就任する前後から、JVCが活動する各国の現場を歩いてきました。

アジア、中東、アフリカ、そして福島。治安上の理由で入国が難しいアフガニスタンを除き、すべての活動地に足を運びました。それぞれの場所で、地元の人びとと共に、JVCスタッフはまさに地べたを這いつくばるように日々の活動を行っていました。

そうした活動が評価され、JVCは2018年度に「沖縄平和賞」を受賞しました。

沖縄から世界に向けた平和のメッセージであるこの賞に選ばれたことは、私たちにとってこの上ない喜びです。授賞式で私は、平和学の父と呼ばれるヨハン・ガルトゥング博士の言葉を引用しながら「単に戦争がない状態は『消極的平和』に過ぎず、差別・抑圧・貧困などの『構造的暴力』のない状態こそが私たちの目指す『積極的平

和』です。その実現に少しでも近づくため、これからも世界各地で活動します」と述べました。

世界では、まさに構造的暴力の嵐が吹き荒れています。過激主義や排外主義が台頭し、従来の「先進国」に中国など新興国も加わって大規模開発が進む中、紛争、政治弾圧、環境破壊、住民の権利を踏みとじる土地収奪などが各地で深刻化しています。

しかし同時に、こうした動きに対して自らの権利と生活、地域の平和を守ろうと立ち上がる人びとがいます。JVCはその最前線で、立ち上がる人びとと手を携え、最も困難な状態にある人びとに寄り添って活動を続けていきます。

これからも皆さんの力でJVCを支えてくださいますようお願い申し上げます。

（2019年7月）